

母親ノート法による子育て、子育て支援のノウハウ

母親ノート法の実践を通して

担当者	楠本 和彦（南山大学人文学部助教授） 澤田 孝子
概要	<p>子育てが難しい時代になっています。子育てで悩むご両親が増えてきています。公の機関でも、子育て支援に力を入れたり、自主的な子育て支援グループが活動しています。本講座は、そのような子育て、子育て支援の一つのヒント、ノウハウを「母親ノート法」を通して、学び、身につけ、今後の子育てや子育て支援に活かしていただく、一助となることを願い、開催します。</p> <p>「母親ノート法」は、元々、東山紘久氏（現在京都大学大学院教授）により、不登校の子どもとその母親とのコミュニケーションの改善をはかり、お互いのやりとりや関わりがセラピューティック（治療的）になるように考案されたものです。その後、より広く子育て一般に役立つ方法としても、紹介、実践されています。</p> <p>本講座は自分と他者とのコミュニケーションをよりよくしたいと思っている方ならば、どなたでも参加していただけます。母親ノート法の実践を通して、母と子どもに限らず、家族、サポートグループの仲間など周りの人々とのコミュニケーションの改善をめざします。コミュニケーションを改善したい相手と自分との会話をノートに記し、その会話がよりお互いの思いや気持ちを伝え合うものになるよう、スタッフと参加者とで考えていきます。自分の会話の点検だけでなく、他の参加者の点検の中からも学ぶことがあるでしょう。</p> <p>それとともに、子育て、子育て支援のヒント、ノウハウを「母親ノート法」の実施、そのグループでの話し合いの中から、見つけ、活かしていくための、サポートも行います。</p> <p>< 講座内容（予定） ></p> <p>第1回 ねらいの共有化、母親ノート法の考え方と方法の説明</p> <p>第2～5回 小グループでの母親ノート点検を通して、コミュニケーション、子育て、子育て支援について考える</p> <p>第6回 まとめ、今後に向けて</p>
日程	土曜日 6回 14:00~17:00 2002/6/15、7/6、10/5、11/16、12/7、2003/1/25
定員	20名
会場	南山大学 D棟
研修費	27,300円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）